



火乃用心心

主人 風呂だんろ煙突ふ火の元は
主人自ら吟味あやめよ

風向 考はず無茶お飛出す上句は
風向と地理をあんぎすのほ

ポン 萬雨の神輿を造る金有らば
小さいぼんおを各町おかけ

用水 泉水や堀井戸有らば潰すお
永く火防の神と仰がん

蓑袋 ろうそくマツチ提灯大風お
細子を入れて長押おかけ

生命 昔から生命あその物なねと
いふは眞実を見限り大切

寶物 土蔵ヤレ金庫といふもの
多二の宝は身あつて出よ

持出 常しよ目つちあふおあしお
非常持出す物は何ぞ

身支度 身支度たなびあうりか
手巾のみ水か氷砂糖か

電線 うろたそ電線お引かり
風のまねし命とらるお

地震之用心心

地形 より土やおきお上お住む人は
地震の時おあふおいと知せ

建築 細柱瓦のやぬお大か
あたま勝ある家ぞあふお

火鉢 火鉢ガスすて火の元最重
まッキお消せ地震する時

あそ 平日の用心足らぬあそ者
瓦お打られ堀お潰さる

津浪 来る時は地震間もよく来るも
のぞ津浪くとらま怖る

避難 屋外おかけるお越すおあれども
其の時この程お後へ

薬品 リウサンお塩酸キハツ油
火を出すものはらばあぬやう

二階 棟の下お三角の明きあれば
二階のけお下りはあそ

逃場 頑丈お長火鉢をさ指おとれ
まッかの時お出るおあそ

震返 ゆり返し本ゆりおはあそ
鏡でツかち尻ツツあり

これ用心書を目つちお小はりおき日々用心
する方は地とんと火事の災難を免れ玉おべし

東京市下谷區
下根岸町廿五番地
石井方
伊勢辰立退所

